



高1クライシス

相談室「青空」カウンセラー 伊藤 充

だいぶ昔のイタリア映画で、エンニオ・モリコーネのあの哀愁あるメロディが印象的な『ニュー・シネマ・パラダイス』、ご存じでしょうか。シチリアの田舎の村の唯一の娯楽、映画館で映写技師を務めるアルフレードと少年トトの心の交流の物語。若者に成長したトトに老いたアルフレードがこう言います。「トト、この村を出ろ。ここにいると自分が世界の中心だと感じる。何もかも不変だと感じる。」と。アルフレード亡きあと映画監督になったトトが村に戻ってきて、そのあとはあの圧巻のラストシーン。味わい深い映画の一つです。

さて、高校進学に伴う環境の大きな変化が心に及ぼす影響は「高1クライシス」という言葉に表されます。まず通学にかかる時間と手間

が中学までとは違います。勉強とはいえば、高校1年生の科目数の多さは見ていても大変。文理選択を前に、多くの科目に取り掛からなければなりません。部活動とは言えば、中学までとは求められる運動量も技術も飛躍的に違います。1学年全体の人数が中学の全校生徒数よりも多いという人も多くなかで、対人関係も増えて目まぐるしく変わります。しかし、中学から高校、高校から大学、社会へと、自分の身を置く環境を広げていくほどに、「自分が世界の中心ではない」と感じる、これがすなわち大人になるということなのではないかなあと思うのです。アルフレードがトトに村を出ていくことを薦めた真意もそこにあって、実際は見ていて辛そうな高校1年生は多いのだけれど、苦労しながら大人になっていくその過程にあなた方はいるのだよ、がんばれ、と思いながら、カウンセラー室で私は話を聞いています。

ご心配なことなどありましたら、いつでもカウンセラー室にご連絡ください。

●生徒支援室 TEL.024-956-8852

●分室「青空」(保健室内…カウンセラー常駐) TEL.024-956-8850

ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ 「附属高校生のイースタープログラム」

挑戦と成長

3年12組 渡邊正悟(郡山第三中学校出身)

今春、私はケンブリッジ大学のイースタープログラムに参加させていただきました。以前から英国の文化や風土への関心、そして「将来のため英語圏で語学力を磨きたい」という思いを抱いていた私は、これを絶好の機会と捉え、このプログラムへの参加を決意しました。

研修中は、現地大学生のPA(プログラム・アシスタント)の支援のもと、平日は90分×4コマ授業、休日は丸一日自由行動、とスケジュールが組まれていました。授業は生徒の主体性に重きが置かれた活動的なものが大半で、特段苦しく感じることはありませんでした。休日や平日の夕食後にもPA主催のアクティビティが数多く計画されていました。特に私が気に入ったのは、長い棒をオール代わりに使うボートでケム川を下るバンティング、チーム対抗でサッカーやリレーなどで得点を競い合うスポーツ・デイ、PAが夜の街をガイドしてくれるナイトツアーでした。また、生徒全員でオックスフォードを観光する日もあり、映画ハリー・ポッターの撮影も行われた大学キャンパス街を見学できる良い機会となりました。

私はこの研修を通し、改めてチャレンジ精神の大切さを学びました。不安を多く抱えたまま飛び込んだ初めての海外でしたが、新しい環境での様々な挑戦の中で確かな語学力が身につく、更にはかけがえのない仲間にも出会うことができました。この経験は受験、そして就職を含めた将来にも必ず役立つと思います。本当に参加できて良かったです。



新任教職員紹介



中澤 麻衣 [理科]

なかざわ まい

1年生と2年生の化学を担当します。日本大学東北高等学校で高校生活を過ごしてよかったと思うように、教科だけでなく日々の生活のサポートを一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



Tracey Connell [英語科]

トレイシー・コネル

今年から英語科に入り、1年生のSWクラス4クラスをチームティーチングすることになりました。私の目標は、生徒と一緒に楽しくコミュニケーションできる授業をすることです。趣味は読書、ドラマ鑑賞、ヨガです。日大東北に来られて幸せです。多くの皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

日本大学東北高等学校

Nihon University Tohoku High School

〒963-1165

福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地

TEL. 024-956-8840 FAX. 024-956-8873

https://www.tohoku.hs.nihon-u.ac.jp



TOH.KOHO

Instagram
はじめました!
最新情報は
こちらから

編集後記

「きらめけ日大東北」123号をお届けします。発行にご協力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。◇キャンパスの桜が満開となった4/10の午後、記念写真撮影を終えた後のこと。理事長一行を乗せた車が近づいてくる。興奮気味に手を振る生徒たち! 減速した車の窓は全開となり、「歓声」は最高潮に! 林理事長との桜満開エピソード…。



日本大学理事長・学長訪問(4/10)

令和6年度1学期を振り返って

青色のネクタイ・リボンの418人の新入生を迎え、令和6年度がスタートしました。今年度は3月に入ってから降雪や低温の影響によりサクラの開花が遅れ、6日の入学式には花が咲かず、サクラの枝と校舎を背景にして記念写真を撮る親子の風景が見られました。

4日後の10日には、林真理子日本大学理事長、大貫進一郎日本大学学長の本校訪問があったのですが、こちらの方は満開のサクラの中、理事長・学長をお迎えすることができました。その様子(合唱部の演奏=「日本大学校歌」・「雲のかなた」、生徒会生徒・陸上競技部生徒との記念撮影等)は、本校HPからYouTube動画で視聴することができますので、ぜひご覧ください。動画は大貫学長が撮影編集されたものです。

新緑の5~6月にはスポーツの部門において、好記録・好成绩が伝えられました。県高体では、女子2000m障害の安齋響さん(3年)は自己新記録の7分11秒70で優勝。男子円盤投げの小野大輝さん(3年)は45m70cmの大会新での優勝。陣野莉心さん(3年)は女子200mを25秒69で制し4冠。陸上競技部は男女ともに学校対抗戦連続優勝。体操部女子団体総合2位。サッカー部はベスト8に進出。6月の東北大会では、君島風凪さん(3年)が走り幅跳び7m46cmの県高校新で2位、小野大輝さんは円盤投げ46m52cmで優勝、県高体水泳部男子800mリレー7分51秒82の大会新で優勝(石川・竹田・樽川・渡部)、体操部女子の東北大会(弘前市)での活躍等、日大東北の選

手諸君の健闘を称えたいと思います。

5月末からは3週間の日程で教育実習が行われ、26人もの大学4年生(本校卒業生・工学部学生)が教科・生徒指導にいました。教員不足が叫ばれる中、これほど多くの学生が教職を目指し、将来に向かって真剣に取り組もうとする姿は、頼もしいものでありました。教員採用試験にも合格し、良い先生として活躍されることを希望しております。

その教育実習期間中の6月11日には、校内体育大会も実施されました。幸い天候にも恵まれ、ソフトボール(3年男子)、バレーボール(3年女子、1年女子)、サッカー(2年男子)、バスケットボール(2年女子)、ドッジボール(1年男子)、長縄(全学年)の競技が行われました。令和6年度初めての行事でしたが、全校生徒が交流する楽しい1日となりました。

長くコロナ禍が続き、声を出しての応援が制限され、満足に学校行事ができなかったときのことを思うと、学校生活の中に当たり前の日常が戻ってきたことを素直にうれしく思います。

本誌123号は、「1 奉仕と思いやりの心を持とう 2 新校舎を大切に学ぼう 3 自ら学び、考え、道をひらこう」という今年度の努力目標のもとに展開された、1学期の学校生活や部活動の記録です。どうかこれをご高覧いただき、躍動する本校生徒の成長の姿を、今後とも応援していただければ幸いです。



学校長 佐々木 稔

Event Calendar

2024

4月

April

6(土) 入学式
8(月) 対面式・着任式・1学期始業式
10(水)～12(金) 健康診断・身体測定・歯科検診
17(水) 基礎学力到達度テスト(1・2年)
18(木) 基礎学力到達度テスト(3年)
27(土) 学級保護者会

5月

May

2(木) 生徒総会
7(火) 自転車安全教室
9(木)～10(金) 保護者参観授業(2・3校時)
20(月)～23(木) 1学期中間試験
26(日) 第1回英検
27(月)～6/15(土) 教育実習

6月

June

11(火) 校内体育大会
16(日) 第50回吹奏楽部定期演奏会
20(木) 第1回献血
22(土) 第1回数検
25(火)～28(金) 1学期期末試験
29(土) 第1回漢検

7月

July

6(土) アカシヤ祭一般公開
18(木) 芸術鑑賞会
20(土) 1学期終業式

日本大学付属高等学校特待生・日本大学東北高等学校奨学生 日本大学東北高等学校桜薔会奨学生

日本大学付属高等学校特待生				
	2学年	平塚 優希(9組)	平栗 樹叶(12組)	
	3学年	坪井 敬臣(9組)	薄井 香花(13組)	

日本大学東北高等学校奨学生				
第1種	1学年	久能 蒼葉(3組)	大高 眞子(10組)	
		渡辺 陸想(7組)	亀田 有里(10組)	
		武井 羽奏(8組)	津田 祐弥(10組)	
		巴 翔(8組)	小河原啓太(11組)	
		中尾 実歩(9組)	野木 心遥(11組)	
	2学年	菊地 美空(3組)	橋本 成央(8組)	
		古内 奏南(3組)	宗像 茉実(11組)	
		緑川 智子(4組)		
		小泉 綾(6組)		
		菅野 唯生(7組)		
	3学年	下村 瑛太(3組)	長沼 優翔(12組)	
		鈴木 眞瑚(3組)	石川 結心(14組)	
		佐藤 遥希(4組)		
		吉田 吏南(7組)		
		嶋崎 桃花(11組)		
第3種	3学年	君島 凪冴(1組)	小野 大輝(2組)	

日本大学東北高等学校桜薔会奨学生(体育)				
野球部	6名	1学年	八巻 悠隼(1組)	
		2学年	一ノ瀬慎平(1組)	
		3学年	天羽 俊介(1組) 飯野 幹太(1組) 鈴木良意斗(1組) 山田鼓太郎(1組)	
陸上競技部	8名	1学年	菖蒲 心陽(1組) 小林 夢(1組) 服部 奈夢(1組)	
		2学年	石川 暖菜(1組) 酒井 佑真(1組)	
		3学年	近藤 美憂(1組) 陣野 莉心(1組) 滝深 心咲(1組)	
水泳部	5名	1学年	水戸 煌稀(1組)	
		2学年	竹田 孝河(1組) 武田 璃子(1組) 渡部 竣也(1組)	
		3学年	菅野 楓(1組)	
バスケットボール部	3名	1学年	遠藤 飛和(1組) 吉坂 健太(1組)	
		2学年	安島 通孝(1組)	
相撲部	1名	1学年	佐藤光汰朗(1組)	

令和6年度 後援会・桜薔会役員(敬称略)

令和6年度 後援会役員名	
名誉会長	佐々木 稔(校長)
会長	安齋 淳(3年 1組)
副会長	小野寺和教(3年 8組) 伊野 竜司(2年12組) 六角 陽佳(1年 4組) 花里 昌昭(教頭)
会計	米倉 功(2年12組) 秦 雅(職員)
監事	吉田 陽一(1年 9組) 岸田 倫明(1年10組) 佐藤 睦浩(教諭)
桜薔会幹事長	早田 宗弘(教諭)
庶務	村上進之介(職員)

1学年委員		
岡部久美子(1組)	相樂 文子(5組)	岸田 倫明(10組)
平栗 幸樹(2組)	飯村恵美理(6組)	津田 美穂(10組)
渡邊 知子(3組)	永沼 浩幸(7組)	濱津 恵子(10組)
橋本 浩樹(4組)	鳴原 真澄(8組)	遠藤 美保(11組)
六角 陽佳(4組)	國分由美子(9組)	
薄井 長広(5組)	吉田 陽一(9組)	

2学年委員		
橋本 泰信(1組)	椎根 聡人(6組)	田村 知恵(10組)
小平 明子(2組)	有賀 小雪(7組)	服部 節子(10組)
本田 友康(2組)	白岩 美香(8組)	熊田美貴子(11組)
澤井 穰次(3組)	上田理恵子(9組)	五十嵐 聡(12組)
石井 めぐみ(4組)	武田 信子(9組)	伊野 竜司(12組)
菅野 泰助(4組)	松本新太郎(9組)	米倉 攻(12組)
円谷 志保(5組)	紋谷 ゆかさ(9組)	

3学年委員		
安齋 淳(1組)	江連美紀子(5組)	宗形 香里(9組)
近藤 洋平(1組)	佐藤真由美(5組)	持地 理恵(10組)
滝深 孝寿(1組)	赤井田仁子(6組)	石井 信子(11組)
小濱 ゆかり(2組)	大田 綾子(6組)	大木由紀子(11組)
橋本 昌子(3組)	藤田 幸子(7組)	佐久間 哲(12組)
吉田 真子(3組)	小野寺和教(8組)	山河 明日香(12組)
圓谷 沙織(4組)	桑島真以子(8組)	菅澤 千加(13組)
横田 明香(4組)	石黒 広美(9組)	武藤 まり子(14組)

	委員長	副委員長
1学年	薄井 長広	國分由美子 飯村恵美理 橋本 浩樹
2学年	椎根 聡人	本田 康友 松本新太郎 上田理恵子
3学年	赤井田仁子	佐藤真由美 大田 綾子 宗形 香里

令和6年度 後援会・桜薔会学校側(教職員)役員・桜薔会幹事

後援会・桜薔会役員	
名誉会長	佐々木 稔(校長)
副会長	花里 昌昭(教頭)
委員	猪山 勝弘(事務課長)
委員	秋山 浩樹(教務部主任)
委員	石川 高遠(生活指導部主任)
委員	鈴木 典行(生徒会指導部主任)
委員	芥川 敦(進路指導部主任)
委員	小池 純一(広報部主任)
委員	川野 貴光(3学年主任)
委員	和泉 賢一(2学年主任)
委員	田崎 智春(1学年主任)
委員	小川 貴之(体育科主任)
庶務	村上進之介(職員)
会計	秦 雅(職員)

桜薔会幹事	
幹事長	早田 宗弘(教諭)
幹事	猪山 勝弘(事務課長)
幹事	村上進之介(職員)
幹事	秦 雅(職員)
幹事	秋山 浩樹(教務部主任)
幹事	鈴木 典行(生徒会指導部主任)
幹事	石川 高遠(生活指導部主任)
幹事	小池 純一(広報部主任)
幹事	川野 貴光(3学年主任)
幹事	和泉 賢一(2学年主任)
幹事	田崎 智春(1学年主任)
幹事	小川 貴之(体育科主任)

4.6Sat

入学式

第74回入学式が日本大学工学部大講堂で挙行政され、佐々木稔校長より入学が許可された418名(入学許可 代表:大高眞子さん・郡山ザベリオ学園中出身)が本校での高校生活をスタートさせた。

校長式辞に続き、根本修克工学部長が日本大学学長祝辞を代読し、村山廣嗣同窓会会長、菊地大介後援会会長より祝辞を賜った。そして、新入生を代表して武井羽奏さん(日和田中出身)が宣誓を行い、在校生を代表して生徒会長の遠藤豊歩さん(富田中出身)が歓迎の言葉を述べた。入学式のあとは各教室でHRが行われ、担任挨拶やクラスメイトと顔を合わせた。



4.6Sat

第74回入学式新入生代表宣誓



麗らかな日差しと共に春風を感じられるこの良き日に私たち418名は歴史ある日本大学東北高等学校の1年生として入学式を迎えることができました。

真新しい制服を身にまとい、これからの高校生活への期待や希望に胸を膨らませております。

本日は、私たち新入生のために、このような盛大な入学式を挙げて頂き、誠にありがとうございます。新入生を代表し、心からお礼申し上げます。

私たちは東日本大震災による原発問題、コロナウイルスなどにより、不自由な生活の中での義務教育を送りました。

これからは制限のない中での生活を願い、恵まれた教育環境の中で、新たな仲間と切磋琢磨し、互いを尊重し合い、3年間の高校生活の中で夢中になれることや目標を見つけたいと思います。

そして、どんな環境におかれようとも、現状に満足するのではなく、常に高みを目指して努力を続けられる人間に成長していきたいです。

私たち新入生一同は日本大学東北高等学校の生徒としての自覚、誇りを持ち、校訓である「忠恕の心」「自主創造」「真剣力行」を胸に刻み、高校生活を謳歌したいと考えております。

結びに、本日入学式を挙げて頂いたことに感謝するとともに、校長先生をはじめ、先生方、先輩方、そして日頃から私たちを理解し、支えてくれる保護者の皆様など、多くの方々に恥じることはないよう、一つ一つの行動に責任を持ち、自立した高校生活を送ることをお約束し、新入生誓いの言葉と致します。

令和6年4月6日

令和6年度入学式新入生代表 武井 羽奏(日和田中出身)

4.8Mon

対面式・着任式・始業式

本校記念体育館にて令和6年度対面式・着任式・1学期始業式が行われた。1年生は全員が体育館にて参加した。2・3年生は各クラス代表4名のみが体育館にて、他の生徒は各教室にてLive配信により参加した。対面式では新入生代表 菖蒲心陽さん(西袋中出身)が高校生活の抱負を述べ、生徒会長 遠藤豊歩さん(富田中出身)と挨拶を交わした。着任式では今年度着任された2名の先生方が紹介され、挨拶があった。

1学期始業式の後、郡山警察署生活安全課から遠藤咲希様と遠藤大樹様をお招きし、「本校生が安全に暮らすための講話」をいただいた。



4.10Wed

日本大学理事長・学長来校

林真理子日本大学理事長、大貫進一郎日本大学学長が日本大学郡山キャンパス(工学部・本校)に来校した。一行はSAKURAホールにて本校合唱部の演奏を鑑賞し、新校舎内の施設を見学した。



日本大学YouTube「工学部、東北高等学校を訪問!」



5.7Tue

自転車安全教室

SAKURAホールにて、郡山警察署交通一課の小倉公康氏を講師にお招きし、全校生徒を対象に「自転車安全教室」が実施された。この講演は、1年生はSAKURAホールで聴講、2・3年生は各教室にてLive配信を視聴すると



いう方法で行われた。小倉先生の講演「演題：自転車の安全走行について」では、自転車事故の例が動画で紹介され、ヘルメット着用の重要性を教授いただいた。

6.8Sat

教育講演会

本校SAKURAホールにて、福島大学教育推進機構准教授の前川直哉氏を講師にお招きし、保護者を対象に「教育講演会」が実施された。

前川先生の講演「君が学ぶと世界が変わる」では、40年前と現在の日本の教育状況を比較し、高校や大学に通う生徒・学生の勉強に対するモチベーションの方向性が変化していることにふれ、「自分のための勉強」ではなく「他者を支えるための勉強」に意識を向けていくことの重要性が紹介された。また東日本大震災や原発事故で支援を受けたことで、他者への支援を行いたいと考えている高校生が多くいることから、「答えの出ない未解決の課題に対して考え続けられる力」の育成が必要であるとお話いただいた。



5.23Thu

スマホ安全教室

SAKURAホールにて、スマホの学校「eネットキャラバン認定講師」の諏江正義氏を講師にお招きし、全校生徒を対象に「スマホ安全教室」が実施された。1年生はSAKURAホールで聴講し、2・3年生は各教室にてLive配信を視聴した。

諏江先生の講演「演題：インターネットの安心安全な使い方」では、スマートフォンを中心に発生するSNSトラブル・架空請求・著作権や肖像権の侵害は、安易な行動やトラブルに対する認識不足によって多く引き起こされるため、スマートフォンの使い方に対して注意喚起を促した。トラブルを防ぐためにルールを決めて使用する、フィルタリングを活用することの重要性などについて具体的な説明があり、生徒達は持参したiPadでメモを取りながら真剣に講演を聴いた。



6.11Tue

校内体育大会

校内体育大会が行われ、ソフトボール(3年男子)、バレーボール(3年女子、1年女子)、サッカー(2年男子)、バスケットボール(2年女子)、ドッジボール(1年男子)、長縄(全年)で競い合った。生徒たちはクラス一丸となり、全力で取り組んだ。



1学年	2学年	3学年	3学年共通長縄
男子ドッジボール	男子サッカー	男子ソフトボール	1学年
1位 1組	1位 7組	1位 2組	1位 11組(205回)
2位 3組	2位 1組	2位 8組	2位 1組(202回)
3位 4組	3位 2・5組	3位 7・9組	3位 7組(178回)
女子バレーボール	女子バスケットボール	女子バレーボール	2学年
1位	1位	1位	1位 8組(195回)
Aリーグ 6組	Aリーグ 5組	1位 5組	2位 5組(190回)
Bリーグ 1組	Bリーグ 1組	2位 9組	3位 7組(175回)
Cリーグ 5組	Cリーグ 4組	3位 6・7組	3学年
	Dリーグ 8組		1位 10組(191回)
			2位 12組(188回)
			3位 9組(178回)

6.16Sun

吹奏楽部第50回定期演奏会

須賀川市文化センター大ホールにて「日本大学東北高等学校吹奏楽部第50回定期演奏会」が行われた。生徒がディズニーキャラクターに扮してのディズニー・プリンセスメドレーや、50回記念にちなみ50年を振り返るヒットソングステージなど、部員35名一人一人の個性が発揮された演奏会となった。



6.20thu

献血への貢献伝統根付く

第1回献血は、生徒会やボランティア委員会の呼びかけ、また美術部のポスター啓蒙等により、教職員を含め153名が参加した。校訓「忠恕の心」(まごころと思いやり)が具現化している。秋の第2回では2・3年生だけでなく、1年生にも募集を拡大して実施する。県内の献血バス6台のうち4台がグラウンド横に列を連ねる予定。



5.27Mon-
6.15Sat

教育実習

3週間にわたり26名の教育実習が行われた。実際に教壇に立ち授業をしたり、生徒と交流したりと、現場でしか経験できない多くのことを学んだ。在校生にとって、先輩である実習生の姿は良い刺激になっていた。26名の実習生の皆さんの今後の活躍を期待している。



成長できた3週間

大和田 桃圭

日本大学工学部情報工学科

教育実習の3週間はとても貴重な時間でした。成長と驚きの毎日でした。自分の成長、生徒の成長を感じていました。教壇実習では「これでいいのか」と日々授業の方法を模索していました。そんな中、先生方の温かいご指導と生徒たちの「わかった!」という声が私の授業への自信に繋がりました。

授業をして感じたことは、私が高校生の頃難しいと思っていた箇所は今の高校生にとっても難しいということです。私が高校生の頃よりもICT教育が盛んになり、時代の変化と共に教育にも変化がある、だから私が高校生の頃難しかった箇所は今の高校生にとっては容易なものかと思っていました。しかし実際はそんなことはない気づかされ、教壇実習の時には自分が高校生だった頃を思い出しながら、少しでも理解がしやすいように指導担当の



先生と相談しながら授業を創ることができました。

生徒たちとコミュニケーションをとって気づかされたことがあります。それは自分の教科を教えることに対する責任です。私が主に関わっていたクラスが理系クラスということもあると思いますが、関心のある分野や進路の話を聞いた時に情報系に興味を持っている生徒が多くみられました。そのことから、自分が教えている情報という科目はこれからの生徒たちの未来を背負っているという責任があるため、これからも教材研究を重ね、少しでも生徒たちにとって将来に役立つように、楽しいと思ってもらえるような授業を創っていく必要があると学びました。

3週間を通して私自身かなり成長したと思っています。授業見学、教壇実習、ホームルームなどたくさんのことを経験させていただきました。関わってくださった先生方、生徒の皆さんにとても感謝しています。この3週間でより教師になりたいという思いが強くなりました。生徒の皆さんの学びに向かう姿勢を見て、私も自分の目標に向かって日々勉学に励みたいと思いました。

3週間本当にありがとうございました。

教育実習を終えて

遠藤 雅也

玉川大学文学部英語教育学科

3週間の教育実習を振り返り、教師という仕事の魅力を改めて感じる事ができたと同時に、当然のことながらその中には教師ならではの大変さも肌で感じる事ができました。

初めて指導教員(英語科)の授業を見学した際、1対40でもスムーズに授業を展開し、授業の中で必ずクラス全員の生徒とインタラクションを図っている指導教員の姿に驚きを感じました。それと同時に、自分にこのような授業ができるのだろうかという不安を抱いたことを今でも覚えています。その後もさまざまな先生の授業を見学させていただき、授業づくりの参考にさせていただきました。

いざ授業が始まり、不安と緊張がありつつも、なんとか無事に人生初の授業を終えることができました。「たった1つの授業で



こんなに疲れるのか!?!というぐらい、授業後は疲労感でいっぱいでした。指導教員の先生方のご指導のもと、その後の授業も課題を見つけては改善を繰り返し、段々と思い描いた授業が形になっていきました。3週間という短い期間ながらも、成長を感じることができました。

授業以外にも、体育祭に参加させていただき、クラスの生徒たちとより近くでコミュニケーションをとることができました。普段とは違った素顔を見ることができて、とても貴重な体験になりました。

この教育実習中、うまくいかなかったことの方が圧倒的に多かったのですが、一緒に教育実習を受けていた仲間たち、お世話になった先生方、そして至らない部分が多い私の授業を真剣に受けてくれた生徒たちのおかげでやり抜くことができました。3週間という短い期間でしたが、多くの出会いと学びを得ることができました。この経験を生かして、自分の目標に向かって精進していきたいです。

学年だより

1 学年

1学年主任 田崎 智春



怒涛の1学期

入学式から怒涛の3ヶ月が過ぎました。初めて学年主任を担当する私にとって、この1学期はただ必死で駆け抜けた期間でした。この短期間を走馬灯のように振り返ってみたいと思います。

初々しさの残る4月のオリエンテーションでは、緊張感と期待が入り混じった雰囲気の中、学区の異なる新しい仲間と出会い、コミュニケーションを図ることで人間関係を構築していました。また、各主任講話を聞きながら、中学校と高校の違いや学校生活でのルール、高校での学習方法などを懸命に学んでいました。

各科目の授業が進んでいく中、HRや総合探究の授業では、皆で共通の目標を共有し、その達成に向けて努力する姿が見られました。特にグループワークでは、異なる意見を持つ仲間との対話を通じて視野が広がり、新たな発見がありました。また、高校生活最初の定期試験も経験しました。中学時よりも科目数が増え、より計画的かつ継続的な学習が必要となります。

部活動では、練習や各種大会が本格化し、学業との両立の悩みを抱えながらも必死に食らいつく姿がありました。「両立」という困難に立ち向かい、諦めずに努力を続けることが自身の成長に繋がります。また、学校行事である校内体育大会やアカシヤ祭では、共に汗を流し、勝利した瞬間の喜びや懸命に応援する姿、クラス全員での協働作業によって、一つのことをやり遂げる達成感と団結力が増しました。

2学期には「文理選択および科目選択」という生徒にとっては人生の大きな選択の一つが待ち受けています。この選択は、将来の進路に大きく影響するため、自分自身の興味や適性をよく考え、慎重に決定する必要があります。

最後に、学年目標である「共創性の育成と将来の展望の探究」を実現するためには、協力と創造を促進する学習環境を整えるとともに、生徒が将来のキャリアや進路について具体的に考える機会が必要不可欠です。これらの取り組みを通じて、生徒が主体的に学び、将来を見据えた選択がしっかりとできる人間に成長してほしいと思います。

2 学年

2学年主任 和泉 賢一



探究心と協働性

2学年がスタートして3ヶ月が過ぎました。4月の基礎学力到達度テストを皮切りに、校内体育大会、アカシヤ祭などが行われ、学校生活のいたるところで、1年次よりも成長した生徒たちの姿をみる事ができました。

1学期に続き、2学期にも多くの教育活動が展開されます。特に「総合的な探究の時間」と「修学旅行」は、今後の高校生活を充実させるうえでも、人生の礎をつくるうえでも、大切な教育活動となります。

総合的な探究の時間では、各コースともに探究活動を行っています。Iコース理系は、日本大学工学部との高大連携のもと、「ロハス探究」に取り組んでいます。2学期は、クラスの枠を飛び越え、同じ探究テーマを選択した仲間とグループをつくり、探究をはじめます。各グループに工学部の先生方がファシリテーターとして参加し、探究内容について助言・指導を行います。来年2月には、代表グループが、生徒、本校教員、工学部教員の前でロハス探究発表会を実施します。Iコース文系は、工学部の研究分野以外にも探究のフィールドを広げ、理系と同様の探究活動を行います。IIコースでも、社会をみつめ、課題を自ら発見し、探究する活動を行っています。

修学旅行では、4泊5日で広島、四国、神戸、大阪を訪問します。事前学習もさることながら、被爆地広島への訪問を通して、平和の尊さについて学び、世界に目を向ける機会をつくりたいと思います。世界平和を「自分ごと」として捉え、自分自身ができること、行動することについて考えさせたいと思います。加えて、訪問地の歴史や文化、自然、風土、人々に触れることを通して、世界を広げ、新たな自分自身を発見し、今後の高校生活・人生をより豊かなものとする事を目指します。

総合的な探究の時間、修学旅行には、自ら考え、仲間と協働して高め合う機会が多くあります。「探究心」と「協働性」を育む絶好の機会となります。これらは、今後の学校生活を充実させるうえでも、人生をより豊かにするうえでも、大切な力となります。2学期の教育活動を通して、生徒たちがより一層成長し、未来に羽ばたく準備を手助けしたいと考えています。

3 学年

3学年主任 川野 貴光



教育講演会

トピックにもありますように、6月8日(土)に、SAKURAホールにて、本校後援会主催の教育講演会が行われました。講師は、福島大学教育推進機構准教授の前川直哉先生でした。2015年にIIコースの生徒を対象に講演してくれた前川先生が9年ぶりに本校にて講演をして下さいました。

私にとっては、2度目の聴講となります。今回は生徒、今回は保護者を対象にしたお話ではありますが、教員の私にとっても心に突き刺さる内容でした。

どうして子供たちに学ばせたいのでしょうか?進学のため?将来のため?世界には学びたくても学べない人が大勢いて、学べる環境があるから?周りが勉強しているから?

私たち教師または大人たちも明確な答えは持っていないのではないのでしょうか?

前川先生の講演は、そのような不明瞭は問いに対して、ひとつの答えをもたらしてくれるものだと感じました。

「君が学ぶと世界が変わる」今回の講演に限らず、前川先生がこの福島で伝え続けている言葉です。学ぶ目的を「自分のための勉強」ではなく、「将来、他者を支えるため」にしてほしいとのことです。

私は、本校での教員生活が25年目になっています。若い頃はやみくもに生徒に関わってきました。しかし、東日本大震災を経て、そして前回の前川先生の講演を機に、生徒たちに「こんな大人になって欲しい像」が芽生えました。特に、この福島県で学んだ子供たちだからこそ「このような大人になって欲しい」という思いが明確になってきました。今回、本校後援会の尽力もあって開催されたこの講演のお話を大切な宝物として、これからも生徒に関わっていきたいと思います。



教務部だより

主体的学びの意識を高めよう ～Iコース「放課後自学の会」～

昨年度より、月・水・金曜日に「放課後『自学の会』」を実施しています。この学習会では「自学する『場所』・『時間』・『教材』・『ファシリテーター（＝サポーター）』・『仲間（＝ライバル）』」といった「学習習慣の定着に必要な環境」が整っています。Iコースの希望者（1年生120名、2年生39名）が自主学習習慣の定着と演習力の強化を目指して、個人での問題演習とグループでの問題演習を行っています。5月27日（月）に「放課後自学の会ガイダンス」でキックオフしてからの1ヶ月、出



教務部
秋山 浩樹

ファシリテーターからのコメント

須山先生より【数学（1年応用）担当】

数学の応用補習は、基礎学力到達度テストや模擬試験での高得点を目指すとともに、数学を通して思考力や表現力を身に着けることを意識して取り組んでいます。本年度は1冊のテキストを購入し、そのテキストの中から問題を解いていきます。毎週グループを作り、そのグループで協力しながら答えを出していくスタイルです。ところで、ラーニングピラミッドというものをご存知でしょうか？ラーニングピラミッドとはエビングハウスが示した学習方法と記憶の定着率をピラミッドで表したものです。そのピラミッドを見ていくと、一般的な講義の記憶の定着率が5%に対し、グループ討論が50%、他の人に教えるが90%まで上がることが分かります。このことから、数学の応用補習ではグループ学習を採用しています。

応用補習は、授業で扱う問題以上の難易度の問題を扱うこともあります。生徒たちは50分間、一生懸命に取り組んでいます。その熱意に私自身も刺激を受け、少しでも皆さんの力になれるように頑張っています。ご家庭で応用補習の話題が出ましたら、ぜひ応援していただければと思います。

武田先生・岩浪先生より【国語（1年基礎）担当】

「放課後『自学の会』」がスタートしました。高校生になって国語で生徒さんが一番不安に思うのは、古典分野です。「言語文化」という科目名で古典分野の古文と漢文を学習します。そして、読解の基本となる古典文法は1年生の最初の壁と言っても過言ではありません。同じ日本語ですが、文法のみならず語句も現在とは異なっています。さらに高校での授業のスピードは速く、ついていけないと嘆くこともあるかもしれません。授業での質問を遠慮している生徒さんも見受けられます。そこで、やる気があり言語文化に興味を持っている生徒さんに対し、授業のフォローアップの補習を設定しました。食わず嫌いをなくし、苦手意識を払拭し、言語文化の奥深さや楽しさに触れてくれたら嬉しいです。そのために自学とはいえ、生徒さんの躓きやすい点を熟知している教

席率はほぼ100%です。早い生徒は英語の問題集を一冊完了しました。この1年でたくさんの問題集をやり遂げることができれば、自分の学習の実績に自信を持って受験に臨むことができるでしょう。自学の習慣を身につけた生徒が増えつづけることで、学校全体の主体的学びの意識が高まることを期待しています。

各学年・教科目・ファシリテーター（担当先生）

学年	教科	ファシリテーター（担当先生）
1学年	国語	岩浪先生・武田先生・草野先生
	数学	須山先生・澤田先生
	英語	佐藤（哲）先生・小林（拓）先生
2学年	英語	橋本先生
	数学	千葉先生
	S.P.（英会話）	ダッチャ先生

員が丁寧に指導します。少人数ですので、生徒さん同士お互いに教え合ったりコミュニケーションをはかることで学習した知識を定着させることができます。また、学年の先生方や他教科との連携をはかり、負担過重になっていないかにも配慮していききたいと思います。「放課後『自学の会』」で1年間学習したことで、基礎固めが完成し、2年生へ飛躍できることを祈っています。基礎補習で理解を確実にした先輩たちも多くいます。

草野先生より【国語（1年応用）担当】

基礎学力到達度テストを始めとした試験における文章読解の対策を目的に、「①教員から50分間の中で取り組んでほしいノルマの提示」「②教員からロイロノート上でヒントを提示」「③生徒同士で丸付けと確認」「④教員による確認」のように、ICT機器等を活用しながら生徒一人一人の理解度によって難易度を選択できる演習方式で進めています。もちろんその限りではなく、生徒の希望に応じて個別に対応することもあります。

放課後の50分間、生徒たちは本当に集中して意欲的に参加してくれています。その真剣な姿勢は私自身も学ぶべき部分であると日々感じています。

橋本先生より【英語（2年応用）担当】

補習に参加する生徒は、文法の基礎問題や授業で扱う内容よりも難しい長文に熱心に取り組んでいます。基礎補習では、文法のレベル別問題集を使い、助動詞や不定詞など、授業で学んだ知識をさらに定着させることができます。応用補習では、社会問題や歴史など様々な題材の長文を扱い、入試に向けた読解力を身に付けることができます。どちらの補習でも共通して分からない部分を深く考え、友達と相談しながら答えにたどり着くことで学びを深めています。このような姿は補習でこそ見えるものだと思います。

教務部だより II コース

2024年度大学入試結果

国公立大合格50名

東北大学・横浜国立大学に2年連続で現役合格

福島県立医科大学医学部（既卒）・東北医科薬科大学医学部（現役）も



特別進学コース（IIコース）
土屋 秀夫

2024年度入試のIIコースの大学合格状況をお知らせ致します。国公立大学には現役生46名と既卒生4名の計50名、また短期大学まで合わせると計53名が合格しました。また、医学部医学科には現役で東北医科薬科大学、既卒で福島県立医科大学にそれぞれ1名が合格しました。

71期生の大学受験は、4年連続で40名を超える生徒が国公立大学に合格。現役合格率は46.6%（4年制43.8%）と、昨年と同様に高い合格率となりました。

そして72期生（現3年生）が受験する2025年度入試は、いよいよ新課程に移行して初年度の入試となります。変更点が多いことに加え、「情報」という新たな教科が加わることもあり、どうしても安全志向が強くなりがちです。しかし、入試制度が変わる初年度は、そこまで難易度が高くないという見方もあります。IIコースでは、新課程入試初年度をチャンスととらえ、72期生のみなさんが後悔することなく、合格という

二文字で大学受験を締め括れるよう、学習面・精神面の両面において全力でサポートしていきます。

国公立大学合格者数 ※大学校・短期大学含む

●北見工大 1	●山形県立米沢短大 1	●長野大 1
●福島大 13(2)	●弘前大 2	●山形大 2
●新潟大 3	●宇都宮大 1	●横浜国立大 1
●宮城大 1	●金沢大 1	●秋田県立大 1
●大月短期大 2	●名古屋工業大 1	●防衛大学校 1
●北海道教育大 2	●会津大 9	
●茨城大 1	●東北大 1	
●金沢大 1	●埼玉大 2(1)	
●福島県立医科大 5(1)	●釧路公立大 1	

（ ）内、既卒生

生活指導部だより

今年度の指導目標

1.自立心・自立意識の育成

毎月「身だしなみ向上週間」を設定し、生徒会役員と風紀委員が中心となり、制服の着こなしや身だしなみについて考える機会を設けています。これは、生徒自身が自ら考え、責任ある行動を起こすことを目的としています。また、春と秋の交通安全週間には、登校時に交通安全委員があいさつ運動や交通ルール・マナーに関する呼びかけを行っています。こうした活動を通して、生徒が自立的に行動し、基本的生活習慣の定着と規範や校則を遵守する意識を育成していきたいと考えています。

2.安全教育の徹底

4月のホームルームの授業で、全校生に「緊急時対応マニュアル」を配布し、各担任から交通事故や自然災害時における適切な対応についての指導を行いました。また、5月7日には郡山警察署職員による「自転車安全教室」を実施し、自転車事故の実例などをふまえて、運転時に注意しなければならないことや、ヘルメット着用の重要性についてのお話をいただきました。

今年度はすでに10件程度の自転車事故が発生しております（6月末現在）。幸い軽傷で済んだものがほとんどでしたが、ひとつ間違えれば大怪我につながるようなものもありました。啓蒙の成果もあり、本校でも自



生活指導部主任
石川 高遠

転車走行時にヘルメットを着用する生徒が少しずつ増えてきております。今後も引き続き、交通ルール・マナーの遵守やヘルメットの着用など、安全意識を高めるような指導をしてまいります。

3.人権の尊重

本校では、生徒相互の共感的な人間関係を育てることを目的として講座を開講しています。特に最近は、何かとトラブルの多い情報モラルに関する指導に重点を置いています。5月23日にはe-ネットキャラバン認定講師による「スマホ安全教室」を開催し、インターネットやSNSを使用する際の安全・安心な使い方、トラブル発生時の対処方法などについての講話とワークショップを行いました。

こうした情報モラルについて、生徒たちは講演会などを通してある程度理解をしていると思いますが、中には自分の感情（ムカつく、面白いなど）をそのまま投稿したり、また親しいグループ内であれば大丈夫だという認識でアップしたりするケースもあるようです。自分が発信する内容が、見る人に誤解や不快感を与えることがないか、他人への誹謗中傷となる内容を掲載していないかなど、ルールやモラルについてきちんと理解をさせるような指導をしてまいります。

以上のことについて、ご家庭におかれましても、普段よりお子様から日常の様子などの話を聞くような時間を設けて頂きながら、適切なご指導をお願いいたします。

県大会

第75回福島県春季ハンドボール選手権大会

ハンドボール部[本宮市総合体育館:4/19～4/21]

男子	第3位	佐藤 亮太(日和田)	鈴木 渉生(泉)
		高橋 慶悟(郡山四)	高宮 雄貴(郡山五)
		榊 蓮(郡山三)	鈴木翔太郎(安積二)
		相川 陸斗(郡山四)	松本 大毅(安積二)
		武田 開渡(郡山四)	千木崎敏広(郡山四)
		武藤 光輝(須賀川二)	八島 聡平(安積二)
		武田 佳悟(二本松一)	降矢淳之介(守 山)
		佐藤 勇誠(安 積)	三瓶 隼豊(安 積)

第70回福島県高等学校体育大会体操競技

体操部[あづま総合体育館:5/24～5/26]

種目別ゆか	第3位	渡部 琉成(郡山三)	
女子団体	第2位	藤田 愛梨(西郷第一)	高橋 栞(郡山三)
		鈴木亜李奈(西郷第一)	大原 寧々(小原田)

第70回福島県高等学校体育大会陸上競技大会

陸上競技部[とうほう・みんなのスタジアム:5/24～5/27]

男子総合	優 勝(7大会連続)	
男子100m	第1位	小針 星砂(古 殿)
	第3位	遠藤 瑛汰(北 信)
男子200m	第1位	佐久間翔梧(鏡 石)
男子400m	第2位	佐久間翔梧(鏡 石)
男子110mH	第3位	齋藤 蒼空(郡山七)
男子400mH	第2位	長谷川桜介(郡山一)
	第3位	野崎 鳳惺(白河二)
男子4×400mリレー	第1位	佐藤 志信(植 田) 長谷川桜介(郡山一)
		井上琉之亮(矢 吹) 佐久間翔梧(鏡 石)
男子走高跳	第2位	佐藤 漣(西 袋)
男子走幅跳	第1位	君島 風牙(郡山三)
男子三段跳	第2位	後藤 俊文(郡山五)
男子砲丸投	第2位	酒井 佑真(古 殿)
	第3位	小野 大輝(ひた清風)
男子円盤投	第1位	小野 大輝(ひた清風)
	第2位	酒井 佑真(古 殿)
男子八種競技	第3位	佐久間凜風(船 引)
女子総合	優 勝(4大会連続)	
女子100m	第1位	陣野 莉心(白河二)
	第2位	石川 暖菜(白河中央)
女子200m	第1位	陣野 莉心(白河二)
	第3位	石川 暖菜(白河中央)
女子1500m	第3位	近藤 美憂(西郷二)
女子100mH	第3位	箭内 汐音(船 引)
女子2000mSC	第1位	安齋 響(二本松二)
女子4×100mリレー	第1位	箭内 汐音(船 引) 陣野 莉心(白河二)
		佐藤 蓮華(石 川) 石川 暖菜(白河中央)
女子4×400mリレー	第1位	酒井 瞳(磐 崎) 陣野 莉心(白河二)
		遠藤 結(広 瀬) 石川 暖菜(白河中央)
女子走幅跳	第1位	小林 夢(本宮二)
	第3位	遠藤 結(広 瀬)
女子三段跳	第1位	遠藤 結(広 瀬)
女子砲丸投	第2位	菖蒲 心陽(西 袋)

福島県高等学校体育大会柔道競技

柔道部[NCVふくしまアリーナ:5/27～5/30]

男子個人	第3位	木船 瑛太(岩 瀬)
------	-----	------------

第70回福島県高等学校体育大会相撲競技

相撲部[福島市相撲場:6/1～6/2]

団体	優 勝	國分 夏(三穂田)	田母神惺成(郡山四)
		菊田 流雅(友 部)	橋本晃之進(安積二)
		佐藤光汰朗(坂 下)	
無差別級	第3位	菊田 流雅(友 部)	
100kg以上級	優 勝	國分 夏(三穂田)	
	第2位	菊田 流雅(友 部)	
100kg級	第2位	橋本晃之進(安積二)	
80kg級	優 勝	佐藤光汰朗(坂 下)	

県大会については3位以上、東北大会は8位以上、全国大会は出場者を掲載
()は出居中

第70回福島県高等学校体育大会ライフル射撃競技大会

ライフル射撃部[二本松総合射撃場:6/2]

AR60J	第1位	湯坐斗喜也(鮫 川)
BR60J	第1位	湯坐斗喜也(鮫 川)
	第2位	遠田 悠翔(安積二)
	第3位	安藤 宗久(船 引)
BR60WJ	第1位	佐藤 愛珠(白河中央)
	第2位	菱沼 未来(安積二)
	第3位	深沢 美帆(郡山一)
BP60J	第1位	川越 琉惺(郡山五)
	第2位	村上 安貴(郡山四)
BP60WJ	第1位	菱沼 未来(安積二)
	第2位	緑川 智子(棚 倉)

第77回福島県総合スポーツ大会

体操部[あづま総合体育館:6/7～6/9]

女子団体	第3位	藤田 愛梨(西郷第一)	高橋 栞(郡山第三)
		鈴木亜李奈(西郷第一)	大原 寧々(小原田)

第70回福島県高等学校体育大会水泳競技

水泳部[郡山しんきん開成山プール:6/21～6/23]

男子総合	優 勝	
男子50m自由形	第2位	竹田 孝河(行 健)
	第3位	石川 遼弥(行 健)
男子100m自由形	優 勝	石川 遼弥(行 健)
男子100m背泳ぎ	優 勝	渡部 竣也(郡山一)
	第2位	菅野 楓(行 健)
男子200m背泳ぎ	優 勝	渡部 竣也(郡山一)
	第3位	菅野 楓(行 健)
男子200mバタフライ	第3位	松浦 璃久(郡山一)
男子200m個人メドレー	優 勝	水戸 煌稀(須賀川三)
	第2位	樽川 脩汰(郡山六)
男子400m個人メドレー	優 勝	水戸 煌稀(須賀川三)
	第2位	樽川 脩汰(郡山六)
男子4×100mリレー	優 勝	樽川 脩汰(郡山六)
		水戸 煌稀(須賀川三)
男子4×200mリレー	優 勝	石川 遼弥(行 健)
		竹田 孝河(行 健)
男子4x100mメドレーリレー	優 勝	樽川 脩汰(郡山六)
		水戸 煌稀(須賀川三)
女子100m背泳ぎ	第3位	蓬田 虹美(守 山)
女子200m背泳ぎ	第2位	蓬田 虹美(守 山)
女子100m平泳ぎ	優 勝	武田 璃子(若松一)
女子200m平泳ぎ	優 勝	武田 璃子(若松一)
女子200mバタフライ	優 勝	円谷 紀子(郡山一)
女子4×100mメドレーリレー	第2位	蓬田 虹美(守 山)
		円谷 紀子(郡山一)
		武田 璃子(若松一)
		高橋 滯(明 健)



東北大会

令和6年度第79回東北高等学校陸上競技大会

陸上競技部[とうほう・みんなのスタジアム:6/14～6/17]

男子110mH	第8位	齋藤 蒼空(郡山七)
男子400mH	第4位	長谷川桜介(郡山一)
	第6位	野崎 鳳惺(白河二)
男子4×400mリレー	第3位	佐藤 志信(植 田) 長谷川桜介(郡山一)
		井上琉之亮(矢 吹) 佐久間翔梧(鏡 石)
男子走幅跳	第2位	君島 風牙(郡山三)
男子三段跳	第7位	後藤 俊文(郡山五)
男子円盤投	第1位	小野 大輝(ひた清風)
	第4位	酒井 佑真(古 殿)
	第3位	陣野 莉心(白河二)
	第4位	陣野 莉心(白河二)
	第4位	安齋 響(二本松二)
		酒井 瞳(磐 崎) 陣野 莉心(白河二)
		箭内 汐音(船 引) 石川 暖菜(白河中央)
女子100m		
女子200m		
女子2000mSC		
女子4×400mリレー		
女子走幅跳	第6位	小林 夢(本宮二)
女子三段跳	第3位	遠藤 結(広 瀬)

第75回東北高等学校相撲選手権大会

相撲部[郡山市相撲場:6/23～6/24]

団体	ベスト8	國分 夏(三穂田)	菊田 流雅(友 部)
		佐藤光汰朗(坂 下)	
無差別級	第2位	國分 夏(三穂田)	
100kg以上級	第3位	菊田 流雅(友 部)	
80kg級	第3位	佐藤光汰朗(坂 下)	

全国大会

第12回国際女子相撲選抜堺大会

相撲部[堺市大浜公園相撲場:4/7]

超軽量級		関下 爽夏(福大附属)
無差別級		関下 爽夏(福大附属)

第108回高等学校相撲金沢大会

相撲部[卯辰山相撲場:5/19]

団体	ベスト32	國分 夏(三穂田)	菊田 流雅(友 部)
		佐藤光汰朗(坂 下)	
個人		國分 夏(三穂田)	

第10回全国女子相撲選抜ひめじ大会

相撲部[網干南公園相撲場:6/16]

軽量級		関下 爽夏(福大附属)	渡部希暖子(坂 下)
-----	--	-------------	------------

第40回U20日本陸上競技選手権大会

陸上競技部[新潟・デンカビッグスワンスタジアム:6/27～6/30]

男子円盤投	第3位	小野 大輝(ひた清風)
女子3000mSC		安齋 響(二本松二)

第62回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

ライフル射撃部[広島県つつがライフル射撃場:7/28～7/31]

AR60J		湯坐斗喜也(鮫 川)
BR60J		遠田 悠翔(安積二)
		佐藤 琉生(本宮一)
		佐藤 愛珠(白河中央)
BR60WJ		菱沼 未来(安積二)
		深沢 美帆(郡山一)

第2回全日本高校生スポーツ射撃競技選手権大会

ライフル射撃部[広島県つつがライフル射撃場:7/28～7/31]

BP60J		川越 琉惺(郡山五)	村上 安貴(郡山四)
BP60WJ		菱沼 未来(安積二)	緑川 智子(棚 倉)



第102回全国高等学校相撲選手権大会

相撲部[宇佐市総合運動場相撲場:7/31～8/2]

団体	國分 夏(三穂田)	田母神惺成(郡山四)
	菊田 流雅(友 部)	橋本晃之進(安積二)
	佐藤光汰朗(坂 下)	
	佐藤 流雅(友 部)	
	佐藤光汰朗(坂 下)	

第15回全日本女子相撲岐阜大会

相撲部[岐阜メモリアルセンター相撲場:7/14]

団体	関下 爽夏(福大付属)	渡部希暖子(坂 下)
軽量級	関下 爽夏(福大付属)	渡部希暖子(坂 下)

令和6年度全国高校総体陸上競技大会

陸上競技部[福岡県博多の森陸上競技場:7/28～8/1]

男子400mH	長谷川桜介(郡山一)	野崎 鳳惺(白河二)
男子4×400mリレー	佐藤 志信(植 田) 長谷川桜介(郡山一)	
	井上琉之亮(矢 吹) 佐久間翔梧(鏡 石)	
	松崎 大周(裏磐梯)	吉田 ゆう(船 引)
	大塚 要介(富 田)	
男子走幅跳	君島 風牙(郡山三)	
男子円盤投	小野 大輝(ひた清風)	酒井 佑真(古 殿)
女子100m	陣野 莉心(白河二)	
女子200m	陣野 莉心(白河二)	
女子4×400mリレー	酒井 瞳(磐 崎) 陣野 莉心(白河二)	
	箭内 汐音(船 引) 石川 暖菜(白河中央)	
	佐藤 蓮華(石 川) 安住 乃茜(郡山四)	
	長谷川みづき(信 夫)	
	小林 夢(本宮二)	
	遠藤 結(広 瀬)	
女子走幅跳		
女子三段跳		